ご あ い さ つ

熊本県中学校体育研究会会長　　**楠木　正昭**

光陰矢の如し。熊本県中学校体育研究会が中学校体育連盟から独立して研究活動を始めてから50年の歳月が流れました。この中学校体育研究会は本県中学校体育の充実･発展のため、中学校体育連盟と車の両輪の関係を保ち、中学校保健体育の研究部門を担当しながら、今日まで力強い実践活動を通して着実な歩みをつづけて参りました。

顧みますと、昭和37年第１回九州中体研･研究発表大会が熊本商科大学を会場に、小・中・高校合同で開催されたのを皮切りに、学校体育の飛躍を目指した研究活動が脈々と受け継がれてまいりました。本県中体研の組織づくりと研究活動の基礎づくりに尽力された先輩方のすばらしい英知と賢明な判断にただただ頭の下がる思いが致します。

また、昭和61年３月の創刊号以来、これまでの先輩各位の偉業と同志の先生方の研究の足跡を記録にとどめ、後世に残すと共に、同志のきずなを強め、研修・研究に役立てていただくことを目的に機関紙「会誌」が刊行されてきました。今年で 31 号の発刊を迎えます。半世紀に渡って先輩方によって築き上げられた実績と伝統、これから更なる充実に向け頑張っていかなければと思っているところです。

さて、平成24年度から完全実施された学習指導要領が４年目を終えようとしています。新しい学力観に立脚した学習指導の定着化が求められる時期を迎えている中で、私たち中体研はこの大きな課題に正面から取り組み、日々研鑽に励んできたところでありますが、この１年を振り返りみますとき、今年もまた実り多き年ではなかったかという思いを強くしています。

実りの第１は、県立熊本農業高校を主会場として、平成27年度第16回熊本県学校体育研究発表会が開催されたことです。3 年毎に小学校・中学校・高等学校・特別支援学校が校種の垣根を越えて、研究授業や公開授業を通して情報や意見交換を行い、県内体育教師の力量の向上を目的に開催されました。今回は、現在の子どもたちの深刻な問題である、運動機会の減少による体力の低下、二極化問題、生活習慣の乱れ、ストレスによる健康の影響等を踏まえ、「未来へつなぐ健やかな心と体をはぐくむ体育学習の充実」～授業から日常へ、授業から未来へ～ を研究主題として、研究テーマに迫る各校種の先生方による熱心な議論が展開された充実した 2 日間でした。熊本市中体研の先生方の公開授業・研究発表等素晴らしい内容を発表いただいたことに心よりお礼申し上げます。

実りの第２は、今年度も中体研の各郡市理事の先生方が理事長を中心に、各事業に献身的に取り組んでいただき、今まで以上の成果をあげていただきました。先生方には各学校において日々の授業・生徒指導に力を注がれている中での理事としての役割、職務の使命感と責任感、生徒への教育愛と情熱に支えられてきたものと思っております。その御労苦に深く感謝申し上げます。

終りに、本誌への貴重な寄稿をお引き受けいただきました方々に厚くお礼を申し上げますと共に、本研究会並びに保健体育教師への多大なるご指導とご支援を頂いております熊本県教育庁体育保健課をはじめ、温かいご支援を賜りました関係各位に心から感謝申し上げます。

会員の先生方の益々のご活躍と本研究会の充実･発展を祈念しましてあいさつといたします。